

大使館からのお知らせ

インド北部の降雨・洪水に関する注意喚起

(2013年6月18日)

1 報道等によれば、モンスーンの影響により、16日から17日にかけてインド北部の広い地域が豪雨に見舞われ、インド北部のウッタラカンド州では同州の広い地域が浸水しており、特に同州北部のウツタルカシを中心とする山岳地域では、いたるところで河川の氾濫、土砂災害が発生しており、道路や建物などに被害が及んでいます。同州における被害者は、18日午前現在判明しているだけで死者50名、行方不明者60名となっています。また、2万人以上の観光客及びヒンドゥー教聖地への巡礼者が道路の寸断により立ち往生しており、インド政府が被災者の救援を行っています。

2 インド気象庁は、17日午前8:30以降48時間以内にウッタラカンド州の数カ所で激しい降雨が予想される他、ヒマチャル・プラデシュ州、ハリヤナ州、デリー、ウツタル・プラデシュ州西部、マディヤ・プラデシュ州西部、ラジャスタン州東部、グジャラート州、コンカン及びゴア、マハラシュトラ州中部、ケララ州、カルナータカ州沿岸部の1,2カ所で激しい降雨が予想される、との警報を発しています。

3 つきましては、ウッタラカンド州に在住する邦人の皆様におかれては、居住地域周辺の冠水の状況把握に努めるとともに、避難等が見込まれる場合には早めの準備及び行動をとることをおすすめします。また、ウッタラカンド州のガンゴトリ (Gangotri)、バドリナート (Badrinath) に通じる国道が土砂崩れにより寸断され、交通手段が断たれているほか、広い地域に被害が及んでいますので、旅行者の方におかれては同州への不要不急な目的の訪問は控えることをお勧めします。

4 また、これまでの降雨によりウッタラカンド州の河川はいたるところで危険水位を超えており、今後も降雨が予想されていることから、ガンジス川支流 (デリー近郊を流れるヤムナ川を含む) 及びガンジス川の下流域においても河川の増水、冠水に十分な注意が必要です。インド北部及び北東部のガンジス川流域への渡航を計画されている方は、現地の気象情報、被害状況等の情報収集・把握に努め、気象予報や警報にも留意しつつ、日程・移動経路または目的地の変更をするなどして、災害や不測の事態に巻き込まれないよう行動予定を慎重に検討してください。同地域に在住されている方は、最新の情報を収集し、災害に備えて懐中電灯、携帯用ラジオ等を手元に置いておくほか、飲料水、食糧を備蓄し、緊急の場合に備えて家族へ緊急の連絡先を知らせ、事前に避難場所を確認しておく等の安

全対策を講じてください。

5 万一災害に巻き込まれた場合には、インド政府の指示等に従って安全確保に努めるとともに、日本の留守家族及び以下の問い合わせ先まで連絡してください。

(問い合わせ先)

在インド大使館

電話：+91-11-4610-4610

FAX：+91-11-2688-5587

在コルカタ総領事館

電話：+91-33-2421-1970

FAX：+91-33-2421-1971